

2019年度の事業報告書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

認定特定非営利活動法人 京都 DARC

1 事業の成果

2019年度は、2018年度に引き続き「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービス事業所として、指定共同生活援助（介護サービス包括型）をネクサス1・2にて、自立訓練（生活訓練）事業をデイセンター・マハロにて行った。2020年3月末の入寮者は12名、デイセンター・マハロへの通所登録者は17名であった。

デイセンター・マハロの回復プログラムとして、農作業等様々な事業を行った。農作業は、以前からお世話になっている亀岡市の農家の方の畑や田での野菜や米作り7回、綴喜郡井手町の畑をお借りしてニンニクと玉ねぎの栽培を13回行った。ボランティア活動は、喫茶店等でのボランティアを50回、さらに月一回デイセンター近くの公園の掃除ボランティアを行った。また、東九条春まつり・秋まつりボランティア参加や東九条マダンや西浦町夏祭り・地藏盆のお手伝いを通して、地域の方との交流を深めた。

今年度は、京都府西部の方々に、京都 DARC の活動を知っていただくために、7月6日に長岡京市で出張フォーラムを開催した。講師として宮城崇史氏（小児科/精神科専門医）に「体験談～私と依存症～」と題してお話ししていただいた。さらに、倉田翠氏（演出家・ダンサー）が主宰する集団 akakilike とダルクのメンバーとの共演により、8月17・18日に京都芸術センターで、9月3日に東京都荒川区のd-倉庫で、ダルクの日常を再現する舞台「眠るのがもったいないくらいに楽しいことをたくさん持って、夏の海がキラキラ輝くように、緑の庭に光あふれるように、永遠に続く気が狂いそうな晴天のように」を上演した。

薬物依存症者及びその家族への相談援助事業は薬物依存症者48件、薬物依存症者の家族42件、関係者19件の電話相談や来所面談等を行った。家族カウンセリングは79件であった。家族プログラムは12回行い、参加者の平均は7.8名であった。

今年度も京都府薬務課との共同事業を行った。薬物依存症の電話相談“薬物依存 ホットライン”（京都 DARC 内に設置と広報している）では、22件の電話相談があった。京都府薬物依存者に対する移動相談事業として舞鶴医療センターで毎月一回行っているメッセージ・ミーティングには、薬物依存症者・関係機関職員等平均4.5名の参加があった。「若年者向け薬物再乱用防止プログラム」（明日への扉を今開こう！OPEN）を全11回行った。京都市事業「京都市薬物依存症再発防止プログラム」（KEEP）への講師派遣は、全13回行った。今年度より、京都保護観察所で行われる「薬物再乱用防止プログラム」に全11回講師派遣した。さらに、施設内研修を全3回行った。

グループホーム建設用地として取得した向島の物件は売却し、新たな物件を伏見区深草西浦町に購入した。グループホーム建設については理解を得られるよう地域住民の方に説明会を開催した。2020年1月に着工。同年7月に完成予定。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)	
⑥ 障害者総合支援法に基づく障害者福祉サービス事業	①薬物依存症回復支援施設の運営事業	共同生活援助 (介護サービス包括型) ネクサス1・2運営	365日	ネクサス1・2	5	(平均) 6.5名/日	24,867
	③薬物依存症患者への生活支援事業	ネクサス3運営		ネクサス3	3	(平均) 2.5名/日	
	①薬物依存症回復支援施設の運営事業 ③薬物依存症患者への生活支援事業	自立訓練(生活訓練)事業 デイセンター・マハロ運営 ミーティング、レクリエーション、昼食作りなどのプログラム	月～土 9:30～17:00 314日	デイセンター・マハロ	5	(平均) 10.1名/日	27,900
④薬物依存症・薬物乱用に関する知識・情報の普及啓発事業	書籍販売	随時	京都DARC	2	薬物依存症者とその家族・関係機関職員等	2,000	
②薬物依存症患者及びその家族への相談援助事業	薬物依存症患者相談	随時	京都DARC	8	48件/年	2,416	
	家族・関係者相談	随時	京都DARC	8	42件/年 薬物依存症患者家族 19件/年 関係者		
	ホットライン相談	随時	京都DARC	7	9件/年		

					薬物依存症者 12件/年 薬物依存症者家 族 1件/年 関係者
インターベンシ ョンプログラム	随時	各拘置所・留 置施設	7	27件/年	
家族プログラム	12回/ 年	京都DARC	3	(平均) 7.8名/回 薬物依存症者家 族	
家族カウンセリ ング	随時	京都DARC	1	79件/年 (116時間)	
京都府北部薬物 依存症者に対す る移動相談	12回/ 年	舞鶴医療セン ター	7	(平均) 4.5名/回 薬物依存症者・ 関係機関職員等	
刑務所等におけ る薬物離脱教育 指導講師派遣	84回/ 年	各刑務所・拘 置所	6	薬物依存症者	
更生保護施設盟 親健 康学習会講師派 遣	7回/年	更生保護施設 盟親	2	(平均) 8名/回	
OPEN「若年者 向け薬物乱用防 止プログラム」 講師派遣	11回/ 年	龍谷大学矯 正・保護総合 センター	3	(平均) 4.5名/回	

	KEEP「京都市薬物依存症再発防止プログラム」講師派遣	13回/年	京都市こころの健康増進センター	2	薬物依存症患者
	「薬物再乱用防止プログラム」講師派遣	11回/年	京都保護観察所	2	薬物依存症患者
④薬物依存症・薬物乱用に関する知識・情報の普及啓発事業	ニュースレター発行	6回/年	京都DARC	4	2000部/回
	フォーラム開催	1回/年	京都府内	15	200名以上
	出張フォーラム開催	1回/年	京都府内	10	100名以上
	各種研修会等講師派遣（関係者・PTA・福祉等）	8回/年	全国	6	100名/回
	学校・高校・大学への講師派遣	9回/年	関西圏各学校	6	中学・高校・大学の生徒教員及び保護者等約150名/回
	他機関との協力・連携（市こころの健康増進センター・府精神保健総合センター）	4回/年	府・市のセンター	4	薬物依存症患者、関係機関職員
⑤薬物依存者の社会復帰促進事業	喫茶店等でのボランティア	50回/年	バザールカフェ	2	（平均） 3名/回
	地域でのボランティア	随時	京都市	7	利用者
	就労相談	随時	京都DARC	6	利用者

	研修会参加	11回/年	全国	7	利用者
	農作業体験	7回/年	亀岡市	4	(平均) 4名/回
		13回/年	綴喜郡井手町	4	(平均) 6.8名/回
⑦その他この法人の 目的を達成するた めに必要な事業	施設内研修	3回/年	京都DARC	3	(平均) 7名/回 職員、関係者
	施設外研修	2回/年	全国	7	(平均) 3名/回 職員、関係者

(2) その他の事業 実施予定なし。